

形容詞・形容動詞語彙の実態とその指導

— 低学年の読みの教材の場合を中心に —

山 本 建 雄

はじめに

読みの学習の場で、児童の語彙力（語彙の量と個々の語についての理解の深さと、これら二つを自力で充実させうる技能とからなる）の伸長を効率よく達成させるには、どうすればよいか。読みの教材中の語彙をとり上げ、その周辺語群（類義語、同義語、対義語……）を効果的に機能させることを通じて、読みの深まりと語彙力の伸長とを図っていくことができるのではないか。

本論稿では、低学年の読みの教材中の形容詞・形容動詞語彙の特徴と、その指導のあり方について述べる。

一、形容詞・形容動詞語彙の実態

私は、昭和五三年度版の光村図書、学校図書、教育出版の一年から三年の国語教科書に採録されている読みの教材（詩教材を除く、一〇教材—一年・三四教材、二年・三五教材、三年・四一教材）の形容詞・形容動詞語彙について実態調査を行なった。その結果から、次のような語彙特徴が明らかになった。

- (1) 異なり語数と延べ語数とに大幅な増加傾向が認められる。
- (2) 使用教材がごく少数の語が多い。

- (3) 新出語数の学年による変動が小さい。
 - (4) 一年の語彙のほとんどは、基本語からなっている。
 - (5) 三社のうちの二社のみ使用という語が多い。
- 以下、これらの特徴について述べる。

1 異なり語数と延べ語数の推移

表1は、各学年の読みの教材に使用されている形容詞・形容動詞の異なり語と延べ語の数を示したものである。

異なり語では、二年と三年で、一年の異り語数の半数分（実数で、およそ六〇語）ずつの増加が認められる。

(表1) 学年別、異なり語数延べ語数

学年	1	2	3
異なり語数	102 * (1)	161 (1.6)	227 (2.2)
延べ語数	367 ** (6.0)	852 (7.1)	1296 (6.7)

* 1年の数を1とした場合の値

** 全自立語に占める割合

延べ語においても、同様に大幅な増加が見られる。二年と三年で、一年の延べ語と同数分ずつ増加しており、三年は一年の三倍以上になっている。なお、形容詞・形容動詞語彙が、自立語全体に占める割合には、ほとんど変化が見られない。三年間をとおして、一六語に一語ほどである。

2 使用教材数の推移

表2は、各学年段階までに使用された教材の数（二年の場合ならば、一年と二年の教材数を合わせた数）によって、異なり語を四区分し、それぞれの区分にあてはまる語の数を示したものである。

(表2) 各学年段階における累加使用教材数別異なり語数

教材数	20-	10-19	4-9	1-3	計
1 年		2	21	79 * (48)	102
2 年	6	15	50	108 (63)	179
3 年	20	35	57	152 (96)	264

* 使用教材数1の異なり語の数

各学年において、その学年までの教材の合計の一割以上（一年、四教材以上、二年、七教材以上、三年、一一教材以上）で使用された異なり語の数は、その学年までに使用されたその二割ほど（一年、二三語、二年、三六語、三年、四七語）で、その割合は、ほぼ一定している。

使用教材の数がごく少数に限られた語も多い。たとえば、使用教材数が一という語が、各学年までの異なり語全体に占める割合は、三年でも三分の一を越えている。

3 新出語数の推移

三社の一年から三年の読みの教材、一一〇教材で使われている形容詞・形容動詞語彙の延べ語数は、二五一五語、異なり語数は、二六四語となっている。異なり語二六四語を、初出の学年で分けると、

(表3) 各学年の異なり語の初出段階別語数

学年	1	2	3
1 新 年 出 の 語	102	84 * (82.4)	92 (90.2)
2 新 年 出 の 語		77	50 (64.9)
3 新 年 出 の 語			85
計	102	161	227

* 新出語の再使用の割合

一年が一〇二語、二年が七七語、三年が八五語となり、二年次以降においても、かなりの新出語が見られることがわかる。

4 一年の語彙

表3は、各学年の初出語が後続の学年で再び使われた数と、各学年で使われた異なり語の初出段階別の構成を示したものである。

一年の一〇二語のうち、八〇九割の語は、後続の学年で再び使われており、これらの語が、各学年の異なり語全体に占める割合も最も大きくなっている。

表4は、各学年の新出語を、阪本一郎氏の『教育基本語彙』(牧書

(表4) 各学年の新出語の阪本氏の段階別異なり語数

学年	阪本氏の各段階		A	B	C	計
	1	2				
1 年	93 *(91.1)	7 (6.7)	2			102 (100)
2 年	51 (66.7)	9 (11.7)	9 (11.7)		8	77 (100)
3 年	36 (40.2)	13 (17.4)	19 (22.2)	3	14	85 (100)
計	180 (68.2)	29 (10.9)	30 (11.4)	3	22	264 (100)

* 各学年段階において、阪本氏の各段階の語の占める割合

店・昭和三三年)の段階の別で分けた場合の数を示したものである。

一年の一〇二語のうち、一〇〇語は、Aの段階の語(阪本一郎氏が、低学年の段階で学習しておくことが望ましいとする、基本的な語)によって占められている。

Aの段階の語は、学年が進むにつれて、割合を下げ、三年では、五割を割っている。なお、Bの段階の語(高学年での学習が望まれる語)の占める割合は、三年では、二割を越えている。

5 三社間の使用語彙の重なり

表5は、形容詞・形容動詞が、三社それぞれの読みの教材(一年から三年の)で使用された数と、三社間の使用語彙の重なりを示したものである。

(表5) 全異なり語の各社別使用状況

会社	M社	G社	K社
自社のみ	23	46	34
他の1社との重なり	26 *(7)	35 (12)	37 (7)
他の2社との重なり	112 (92)	112 (92)	112 (98)
計	161 (99)	193 (104)	183 (99)

* 中核語の数

各社の使用語彙の量は、その最高と最低で三〇語ほどであり、相

互にかなり接近している。

三社間の語彙の重なりを見ると、三社すべての重なるの見られる語群と全く重なるの見られない語群に大別される。全く重なるの見られない語が、全体の四割弱の一〇三語、三社すべての重なるの見られる語が、やはり、全体の四割強の一三二語あり、数の上ではほぼ拮抗している。なお、三社すべての重なるの見られる一三二語が、各社の使用語彙全体に占める割合は、六〜七割である。

二、語彙の実態に応じた指導

低学年の読みの教材の形容詞・形容動詞語彙の実態に応じた指導においては、読みの教材を通して接觸しうる語の絶対量の不足を補う意味からも、語群を活用することが必要となる。語群を使った指導をしようとする時に、解決しておかなくてはならない課題として、次のようなものが考えられる。

(1) 必要にして充分な語彙が、機能的に分類されている、分類語彙表の作成。

(2) 語群による指導において、中核的な機能を果たさせる中核語を選び、学年配当をする。

(3) 指導を効果的かつ容易にするために、小語群の内部構成について典型化をなす。

1 語群による指導と分類語彙表の作成

私は、個々の語の理解の深化と語彙の益的な拡大とを、類縁関係にある語相互の関係把握を通して、ともに果たしうるような指導の具体化をめざしている。

このような指導においては、基本語を中心とする分類語彙表の存在が不可欠となる。私は、三社の読みの教材で使われた二六四語からなる、低学年の形容詞・形容動詞語彙分類表を、作ってみた。この表には、基本的な語とするには問題のあるものが含まれており、また、必要な語が欠落していることも予想される。現時点では、より望ましいものに至る一階梯と考える。

私は、二六四語を次のような六つの大語群に分け、さらに、その内部を多くの小語群に分けてみた。

I、感情にかかわる語群 (全七四語)

II、感覚にかかわる語群 (全二九語)

III、物事の属性にかかわる語群 (全五五語)

IV、物事の状態にかかわる語群 (全三七語)

V、価値にかかわる語群 (全五六語)

VI、その他 (全一三語)

この語彙表の実際については、論稿の末尾を御覧いただきたい。

2 中核語の選択と学年配当

私は、中核語の選択と学年配当を、次のような手続きで行った。

1 中核語の選択の手続き

三社の一年から三年までの一一〇教材における、使用教材数の順に、同じ教材数のものについては頻度数の順に順位をつけ、上位の百語 (九八位の語が八つある為)、実際は一〇六語) を選び、これらの中核語とする。

2 中核語の学年配当の手続き

新出語の現われ方等を考慮に入れ、各学年に均等に配当する

ことにする。中核語一〇六語に、一年の三四教材における使用教材数と頻度数をもとに、中核語の選択において行ったと同様の操作をなし、三五語を選び、一年に配当する。さらに、これら三五語を除いたものから、一年と二年を合わせた六九教材における使用教材数と頻度数をもとにして、三六語を選び、二年に配当する。残った三五語は、三年に配当する。

中核語一〇六語のうちの一〇二語は、阪本一郎氏の段階分けのAの段階の語であり、そのうちの九九語は、特に基本的なA1の段階の語である。また、一〇六語のうち九二語は、三社で共通に使われている語となっている。これら二つの点からも、或る程度は、中核語としての存在を裏付けることができるであろう。

なお中核語の学年配当は、あくまでも目安であり、配当学年で教えずなくてはならないという性格のものではない。

3 小語群の内部構成の典型化

私は、分類語彙表の小語群の内部構成の基本型として、階段型、並列型、対照型の三つを考えた。この三つの型を、表6のモデルを使って説明する。

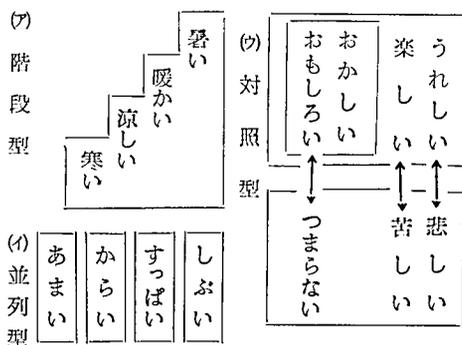
階段型

小語群を構成する語の意味の共通部分は多く(モデルの場合は、外気の温度に対する皮膚の感じ)、各語の示差特徴は、一本の軸モデルの場合は、外気の温度の高低)の上に配列されるもの。

並列型

小語群を構成する語の意味は、基盤の部分(モデルの場合は、物質に対する舌の感じ)では共通するものの、その示差特徴は、互い

(表6) 小語群構成の3基本型



に並列の関係にあるもの。

対照型

対義ないし反義の関係にある語のひとまとまりが単位(モデルの場合は、楽しいと苦しい、うれしいと悲しい等)となり、それらの集合からなるもの。

前述の分類語彙表の小語群は、一応、この三つの型のいずれかに収めることができる。なお、数の上では、階段型と対照型の二つに、ほぼ大別することができる。

この三つの型を、児童にのみこませることは、比較的容易であろうし、語彙力を効率よく身につけさせる上でも有効であろう。

おわりに

論稿をおえるにあたり、低学年の教材語彙の実態のより適確な把握と、語彙指導をより具体的なものに近づけることの二つが課題として残った。一層の工夫と努力を重ねていきたい。

《形容詞・形容動詞分類語彙表(小1~3年)》

(注) (3)◎こわい(2年)

* 中核語の配当学年

※ 『教育基本語彙』における段階(◎はA1、○はA2、△はB、×はCの段階を表わす。)

※※ 読みの教材における初出学年

I 感情にかかわる語群

(心細さ)

(3)◎こわい(2年)
 (2)◎恐ろしい(2年)
 (2)◎たまらない(1年)
 (2)◎心細い(3年)
 △心強い(1年)
 ◎平気だ(3年)
 ◎平気だ(1年)

(意外)

○とんでもない(2年)
 (1)◎大変だ(1年)
 △意外だ(3年)
 ○思いがけない(3年)
 ◎妙だ(3年)
 △おかしい(2年)
 (1)(1)◎変だ(1年)
 ◎不思議だ(1年)

(確かさ)

ちがいない(3年)
 ◎あたりまえだ(3年)
 △正確だ(3年)
 ◎確かだ(1年)
 (1)◎本当だ(1年)
 ◎怪しい(1年)

(後悔)

◎残念だ(3年)
 ◎しゃくだ(2年)
 ◎悔しい(1年)
 しょうがない(3年)
 (2)仕方がない(2年)

(程度)

とほうもない(3年)
 (3)○ものすごい(1年)
 ◎すごい(3年)

(好き・嫌い)

(1)◎きれいだ(1年)
 (2)◎美しい(2年)
 △はなやかだ(3年)

(1)◎かわいい(1年)
 かわいらしい(2年)

(2)◎すてきだ(1年)
 (1)◎好きだ(1年)
 (3)◎大好きだ(2年)

◎みっともない(3年)

↓ (3)◎いやだ(2年)

↓ ◎きらいだ(1年)

◎なつかしい(3年)
×恋しい(3年)

(2)◎欲しい(2年)

〔同情〕

(1)◎かわいそうだ(1年)
◎気の毒だ(2年)

◎うらやましい(2年)

○御苦労だ(2年)
すまない(2年)
◎有難い(3年)

(2)◎得意だ(1年)

◎恥ずかしい(2年)

〔苦楽〕

(2)◎面白い(1年)
◎おかしい(1年)

○つまらない(2年)

(1)◎楽しい(1年)
(1)◎うれしい(1年)

◎苦しい(2年)
◎悲しい(2年)

◎のどかだ(3年)
△やすらかだ(3年)

◎心配だ(3年)
◎忙しい(2年)

◎愉快だ(3年)
△快い(3年)
△さわやかだ(3年)

〔難易〕

◎無理だ(1年)
◎面倒だ(3年)
◎難しい(1年)
◎楽だ(3年)
◎易い(2年)
(3)◎簡単だ(3年)

II 感覚にかかわる語群

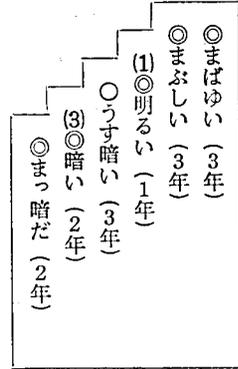
〔温度〕

◎暑苦しい(3年)
◎暑い(1年)
(1)◎暖かい(1年)
◎涼しい(2年)
(2)◎寒い(1年)

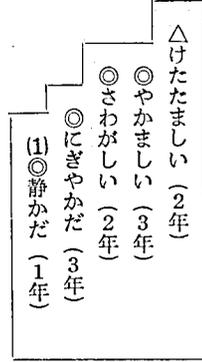
(3)◎熱い(1年)
(1)◎暖かい(1年)
(2)◎冷たい(1年)

(3)◎幸せだ(1年)
◎かんかんだ(2年)

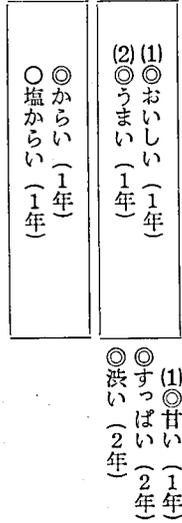
〔視覚〕



〔聴覚〕



〔味覚〕



〔嗅覚〕

- △生臭い (3年)
- △香しい (1年)

〔痛覚〕

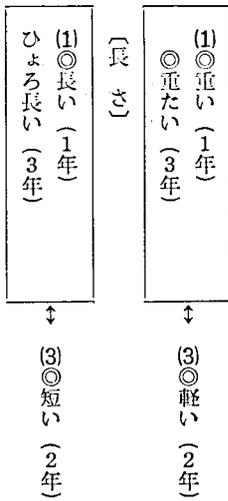
- ②痛い (2年)
- ③くすぐりたい (1年)

Ⅲ 物事の属性にかかわる語群

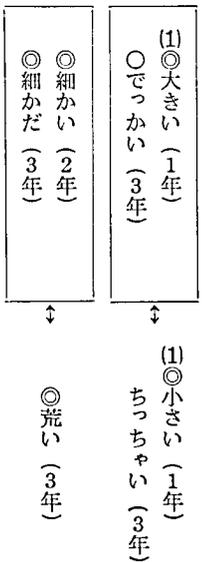
〔広さ〕



〔長さ〕



〔大きさ〕



〔厚さ〕



〔高さ〕

(1) ◎高い (1年)

〔硬さ〕

(2) ◎硬い (1年)

↓ ◎低い (1年)

(3) ◎柔らかい (2年)

◎柔らかだ (1年)

×しなやかだ (3年)

〔色〕

(1) ◎白い (1年)

(2) ◎真白だ (1年)

○真白い (1年)

生っ白い (3年)

(2) ◎黒い (1年)

○真黒だ (1年)

黒っぽい (2年)

(1) ◎赤い (1年)

(2) ◎真赤だ (1年)

(1) ◎青い (1年)

◎真青だ (3年)

青白い (3年)

(3) ◎黄色い (2年)

○茶色い (3年)

◎濃い (3年)

〔深さ〕

(3) ◎深い (1年)

○奥深い (3年)

〔形〕

(1) ◎丸い (1年)

(3) ◎まん丸い (1年)

まあるい (3年)

○四角い (3年)

ま四角だ (3年)

〔強さ〕

(1) ◎強い (1年)

(3) ◎丈夫だ (1年)

◎大丈夫だ (2年)

△たくましい (2年)

↑ (3) ◎弱い (2年)

IV 物事の状態にかかわる語群

〔集散〕

(1)◎いっばいだ(1年)
△窮屈だ(3年)
すしすめだ(3年)

↓ ○ひとりぼっちだ(2年)

〔豊かさ〕

△豊かだ(2年)

↓ (3)◎貧しい(2年)

◎貧乏だ(2年)

◎せいたくだ(1年)

〔異同〕

(2)◎同じだ(1年)
(3)◎そっくりだ(1年)

↑ (1)◎いろいろだ(1年)

◎様々だ(2年)

〔新旧〕

(2)◎新しい(2年)

↑ (3)◎古い(1年)

〔自由さ〕

◎自由だ(2年)

↓ ○不自由だ(3年)

〔多 少〕

(2)◎多い(1年)

◎わずかだ(2年)

◎少ない(3年)

◎かすかだ(1年)

〔特殊・一般〕

とっ拍子もない(3年)
(3)◎特別だ(1年)
(2)◎珍らしい(1年)
◎普通だ(3年)

〔遠近〕

△はるかだ(3年)
(2)◎遠い(1年)
(2)◎近い(1年)

〔勢い〕

△穏やかだ(3年)
↓ (3)◎激しい(2年)
◎きびしい(1年)
◎盛んだ(3年)
勢いよい(3年)

〔勢い〕

△力強い(2年)
△力まかせだ(3年)
(1)◎元気だ(1年)
↓ (3)◎平らだ(1年)
(3)◎真直ぐだ(1年)
○くしゃくしゃだ(3年)

〔曲直〕

V 価値にかかわる語群

〔人柄〕

◎りこうだ (2年)

◎素直だ (3年)

○ねばり強い (3年)

辛棒強い (2年)

◎まじめだ (3年)

◎おとなしい (2年)

◎勇ましい (2年)
△勇敢だ (2年)

(2) ◎やさしい (1年)

◎親切だ (1年)

◎丁寧だ (3年)

◎馬鹿だ (2年)
◎剛情だ (3年)

◎いたずらだ (2年)

◎おく病だ (3年)
たよらない (3年)

◎なまいきだ (2年)
◎意地悪だ (2年)

◎ずるい (2年)
◎勝手だ (2年)
△欲深かだ (3年)
自分勝手だ (2年)

注意深い (3年)
すばしっこい (3年)

〔良悪〕

(3) ◎りっぱだ (3年)

(3) ◎みごとだ (1年)

(2) ◎すばらしい (1年)

◎よろしい (3年)

(1) ◎いい (ええ) (1年)

(1) ◎良い (1年)

△ましだ (2年)

◎粗末だ (2年)

よくない (3年)

(2) ◎悪い (1年)

(2) ◎いけない (1年)

(2) ◎だめだ (1年)

(2) ◎えらい (1年)
△尊い (3年)

〔うまさ〕

(1) ◎上手だ (1年)

◎うまい (1年)

◎へただ (1年)

(3) ◎大事だ (2年)
(3) ◎大切だ (2年)

〔秩序〕

◎無事だ (2年)

◎安全だ (2年)

◎平和だ (2年)

(3) ◎あぶない (1年)

△ぶっそうだ (3年)

◎むちゃだ (2年)
◎めちゃだ (2年)
△むちゃくちゃだ (2年)

〔正しさ〕

◎正しい (3年)

〔便利さ〕

(3) 便利だ (2年)

○不便だ (2年)

VI その他

〔若さ〕

(2) ◎若い (2年)

△幼い (3年)

〔速さ〕

○す速い (1年)

(3) ◎速い (1年)

〔精神〕

(2) ◎夢中だ (1年)

△真剣だ (3年)

△精一杯だ (3年)

〔時の経過〕

(1) ◎早い (1年)

○久しぶりだ (3年)

(1) ◎ない (1年)

(3) ×有名だ (3年)

◎主だ (3年)

(安田女子大学講師)